

警察学校 POLICE ACADEMY

神奈川県警察に採用後、全ての警察官がまず警察学校に入校します。
ここで職務に必要な基礎知識と技能を習得し、
さらに寮では同期生との共同生活を通じて仲間との絆を深めます。
正義感や使命感、そして仕事への情熱も含め、
警察学校の生活には全ての学びが詰まっており、この場所での経験が、
やがて様々な現場で活躍するための土台になっていきます。



とある警察学校の日

警察学校で学ぶ学生たちは、決められたスケジュールのもと、
仲間とともに充実した毎日を送っています。



⌚ 6:00 起床

起床。授業開始時間まで、点呼、掃除、朝食、朝礼を行います。



⌚ 9:00 点検教練

点検教練は、警察官としての基本的な動作を学びます。



⌚ 12:00 昼食

警察学校内の食堂でランチ。栄養バランスが整った、ヘルシーなメニューを選べます。



⌚ 12:55 犯罪捜査

午後の授業開始。被害届の作成などの座学だけではなく、犯罪捜査の実技も学びます。

Interview

Q.なぜ神奈川県警察を選択したのですか？

高校まで陸上競技をやっていた私は、ジュニアオリンピックという全国大会で横浜を訪れました。故郷の九州とはまったく違う景色、街の雰囲気などが新鮮で、自分を成長させてくれた都市として、いつかはこの地で働きたいと思っていました。専門学校時代の就職説明会で出会った採用担当の方がフレンドリーで、説明も分かりやすく、そのおかげで将来のビジョンを明確に描けたことが、神奈川県警察を選んだ大きなポイントになりました。



熊本県出身 警察学校 巡査

Q.学校生活の感想を教えてください。

入校して半年。最初のうちは敬礼や隊列、教官への報告などに関する決まりを覚えることが大変で、失敗しては反省の毎日でした。それでも同期生たちと指摘しあったり、悩みを聞いてもらったりということを繰り返すうちに、次第に規律の厳しい生活にも慣れてきました。きつい体力錬成や柔剣道大会の時にはみんなで応援しあい、仲間と協力して壁を乗り越えることの楽しさ、友情の大切さも学ぶことができました。



コーチ制度 安心して学べ、成長できる環境

神奈川県警察の警察学校には入校式までのおよそ2週間、警察本部や警察署などの現場で一定の経験を積んだ若手の警察官が、新入生のコーチ役としてサポートする制度があります。新入生にとっては「兄や姉のような」身近な存在。警察学校での生活に必要な知識や心構えを伝え、相談にも乗ってくれる頼れる先輩です。



360度動画で
警察学校の生活を
体験しよう！



360度動画



通常版はこちら

授業のことや寮での生活のことなど、
警察学校のQ&AをWEBでご紹介！

神奈川県警察学校Q&A



警察学校Q&A



⌚ 15:55 担任指導

5限目は担任教官による指導。気軽に話せる教官とともに、苦手箇所の克服に努めます。



⌚ 17:15 自由時間

夕食、お風呂、洗濯、自習など、それぞれが思い思いにリラックスした時間を過ごします。



⌚ 21:30 日夕点呼

室内清掃や自室の点検などの作業を行った後、最後の点呼を行います。



⌚ 23:00 消灯

教場長を中心に、明日の確認事項などをミーティングで共有。充実した一日が終わります。